

パシオン通信 秋号

2023年7月前編

システム開発部

M・Y

秋号

今年の7月に名古屋-岐阜へ遊びに行ってきました！

7月某日未明：

横浜市内での渋滞を避けるように家を出て東名高速へ。

7時頃：

大きな渋滞もなく名古屋に到着。名古屋でモーニングをいただく。

8時頃：

名古屋から更に足を延ばし岐阜県大垣駅へ。前から行きたかった金蝶園総本店に開店と同時に入店。



見た目も涼しい水まんじゅうをいただく。行列もできるお店だそうで混み合う前に入れて助かりました。

10時頃：

折角だし琵琶湖までドライブするか〜となり米原方面へ。

歴史的建造物として保存されている豊郷小学校(滋賀県豊郷町)の近くを通りかかったのぞいてみることに。



ここはアニメ「けいおん！」に登場する学校のモデルとなっている学校で「聖地巡礼」をするファンの方が多く訪れるそうです。

敷地、校舎、講堂とどれも立派で素晴らしいのですが、聖地となっている教室は3階にあり木造校舎の3階(もちろんエアコンなどない)の暑さは、なんか懐かしさを感じました(溶けた)。



12時頃：

琵琶湖沿岸を走りながら長浜へ。



黒壁スクエアと呼ばれる観光エリアで近江牛のローストビーフ丼をいただく。



黒壁スクエアには、海洋堂ミュージアムという模型を製作する会社の商品、ジオラマを展示するミュージアムがあり拝観する事に。



子どもの頃に作ったことのあるプラモや集めたボトルキャップフィギュアなどの展示もあり懐かしさに震える。

16時頃：

名古屋へ戻りホテルにチェックイン。あまりに疲れたので一旦爆睡。

18時頃：

今回の旅行における1つ目の目的である鳥銀本店へ。このお店は名古屋コーチンの専門店です。

刺身、串焼き、鍋、手羽先、炭焼き、鳥皮ポン酢がすべて名古屋コーチンです。



飲みや食えやでしっかり堪能しすぎて、この後大須エリアか大通公園エリアを散策しようと思っていたのですが不可能に。後編へ続く。

目次

2023年7月前編	1
小学校の昔と今	2
皆やっている、「ふるさと納税」ピカチュウたちが大量発生！	3
念願の利尻礼文へ	4



小学校の昔と今

システム開発部 O・Y

VIVANTロスの0です。様々な考察があつて面白かったですね。ベキは生きていますよね～。続編が早く見たいです。

長男が小学校に上がり、初めての運動会でリレーの選手に選ばれたと聞いて、ビックリしました。とても喜ばしい事ですが、保育園では平均的な足の速さだったので、驚いています。子供の小学校の話聞いて、私が子供の頃とは違う！という事がいくつかあったので、ご紹介します。

(地域や学校により異なる場合もあります。)

まず、呼び方ですが、男子は「くん」、女性は「さん」でしたが、今は男女とも「さん」付けで呼ぶらしいです。先生は男女ともに「さん」ですが、子供同士はあだ名が禁止の為、女の子に「0～」と呼び捨てで呼ばれている所を目撃して、少し違和感がありました。

また、私が小学校の頃は喉が渴いたら水道の水を飲んでいました。勢いが良い所は、あの場所の一番右の水道はうまいと話題になった程でした。(実際はどれも同じだと思いますが)今は、1年中水筒を持って行くそうです。また、各教室にはエアコンが設置されており、冬場のストーブもないようです。ストーブの周りに雑巾を干して乾かしていた事もありません。

ランドセルの色は、男の子は黒。女の子が赤だったと思いますが、最近のランキングでは、男の子は黒、紺、青。女の子は、パープル、ピンク、赤が人気らしいです。男の子が好む黒も飾り(刺繍)やステッチなどアクセントが入っていると。体操着や水着も今は指定がないそうです。

ネット上では、今の小学生は円周率を3で教えられると話題になりましたが、現在は基本的には3.14を



使用し、目的に応じて3を使用しても良いとされているようです。いい国(1192年)作ろう鎌倉幕府も、いい箱(1185年)作ろう鎌倉幕府となっているそうです。

(1185年から源頼朝による政治が行われていた為、変更されたようです)

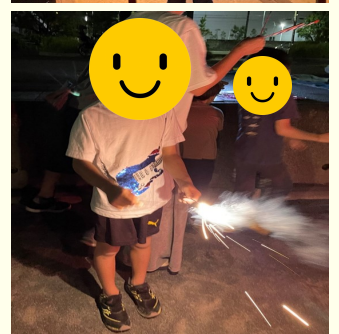
保護者に関係する事ですと、連絡網を廃止し、メール配信(アプリでやる所もあるようです)、家庭訪問を廃止し、個人面談なんかもあります。私が成人式の時に、小学校の連絡網を使って、同窓会の連絡が来たこともありましたが、今はどうなのでしょう。

ご存知だと思いますが、英語の授業もあり、タブレットを使う授業もあるようです。タブレットでは、カタカナの練習や引き算の答えを選んだりしているそうです。

プログラミングの授業では、プログラミング言語を学ぶのではなく、プログラミング的(論理的)思考を養うようです。具体的には、あらかじめ用意されたブロックを組み合わせて、キャラクターを指示通りに動かしたりするようです。

基本的には、より良くアップデートされているようですが、昔の方が安心して外遊びが出来たとも思います。今は怪しい人が多かったり、悲しいニュースが多かったりします。安心して穏やかな日々が過ごせることを祈っています。

写真はあまり関係がないですが、5月にUSJ、夏休みにソレイユの丘、花火をやった時の写真です。





皆やっている、「ふるさと納税」 システム開発部 K・N

このコロナ渦で、旅行に行けない状況が続いたことで、ふるさと納税を始めた方は多いのではないのでしょうか。

そのふるさと納税が2023年10月以降からルールが一部変更・改訂されることが決まっているのは皆さまもご存知ですかね。

知ってるよ。って方もいるかも知れませんが、簡単にご紹介。

もし、間違っていたらフォローをお願いします。

①経費ルールの変更・改正

ふるさと納税の返礼品について「寄付額の3割以下」発送などの経費まで含めて「寄付額の5割以下」というルールを定めています。そのルール自体に変更はありません。

今回は、「5割ルール」が厳格化されます。

ふるさと納税の募集経費に含まれていない費用が、寄付を受ける自治体で膨らんでいる実態が明らかになったことから、総務省がルールの厳格化を決めました。

②地場産の基準の変更・改正

返礼品は地場産であることが条件というルールに変更されます。地場産とは「その地域で作られたもの」のことです。

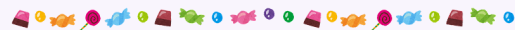
詳しくは以下の通りです。

- ・ 熟成肉・精米の返礼品は原材料が同一都道府県産のみに
- ・ 他地域産の品と地元産の品をセットにする場合は、地元産の品が全体価格の7割以上にならなくてはならない

これにより何の影響が生じるかと言いますと、寄付総額自体が増加する、ということです。分かりやすく解説すると、2023年9月末までは「10,000円の寄付をするとマグロ1kgがもらえていた返礼品」が、2023年10月からは「12,000円の寄付で1kgの返礼品」になる。という感じです。なので、年末を待たずに2023年9月中に満額を納税してしまうのが良いということになります。

この記事を読んでハッとされた方は、時すでにお寿司。でなく遅しです(笑)。

誰かがドタキャンしたことで、急な無茶ぶりで執筆をしたのでこの記事執筆したのは9月中旬ですが、この記事が掲載される秋号は10月頃なので…。



ピカチュウたちが大量発生！ 総務部 S・M

2023年8月、みなとみらいにピカチュウがやってきました。また会いたいなあ。

テレビのニュースでピカチュウの行進をみて「行きたい！！」って思って、8/14に見に行きました。パレードの30分位前にいったのに、すでに場所取りされているので、もう4列目。座って見ないといけないといわれ結局立ち見したのですが、よく見えなく音楽にあわせてピカチュウの耳が動いているのだけしか見えずとなりました。

でも、いろんな場所にピカチュウが大量発生したので、写真を撮ってみました。



散策していると、日本丸メモリアルパークでピカチュウに偶然会いました。ちょこちょこ歩きがかわいい。感動～。





念願の利尻礼文へ 総務部 Y・K

長年行ってみたいと思っていた「利尻・礼文」。ベストシーズンは5月中旬～8月初旬ですが、つい先週（10月中旬）利尻富士の初冠雪を期待して行ってきました。



利尻富士
(礼文に向かうフェリーから)



残念な日の出と利尻富士
(礼文島より)

「利尻富士と日の出」を撮ろうと早起きしたのですが、残念ながら雲がかかっていた。

この時期なので分かっていたことではありますが、花の季節はとっくに終わっているの、礼文島では草花は枯れてほぼ茶色の平原、大きい樹木もないので、紅葉が楽しめる感じでもありませんでしたが、利尻島では姫沼やオタトマリ沼の周りで若干の紅葉を見ることができました。

ちなみに、ベストシーズンだと、礼文島の一番高い山は



姫沼 湖面に映る利尻富士



利尻島 姫沼 少し紅葉

礼文岳（490m）ですが、冷涼な気候により海拔0m地帯から200種類以上の高山植物や、礼文島にしか生息しない植物も多く、沢山の散策コースがあり、可憐な草花を鑑賞することができます。また利尻島（利尻山）は別名「利尻富士」とも言われ1,721mの綺麗な円錐形の山？島？ですが、利尻島で高山植物を鑑賞するには利尻山の8合目位まで登らないと見られないらしいので、気力と体力が必要だと思います。

そして、もう一つの楽しみは新鮮な魚介類。中でも、採れたての生ウニを期待していたのですが、「ウニ漁」は8月末までだそうで、残念ながらそれも終了～。

それでも、天候には恵まれ、寒さ心配をしたヒートテックやダウンの出番はなく、この時期には珍しく日中は20℃前後と穏やかな気候で上着を着ることもなく、吹く風が心地よく感じました。初冠雪は幻でしたが、晴れていればこそその綺麗な風景にもたくさん出会うことができましたので、紙面のその一部をご紹介します。

そして最後の朝は雨だったのですが、利尻島から稚内に向かうフェリーの中で雨が上り、直後に見事な虹を見ることができました。ラッキー！！

いつかきっと、初夏にリベンジしたい。冠雪した利尻富士も見たい・・・と思います。



利尻島 西海岸の夕日



利尻島 夕暮れの仙法志御崎公園



稚内に向かうフェリーから

本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。本趣旨にもとるご利用、お取り扱いにはご容赦いただきますようお願い致します。